

御の集

私は、朝夢を見ました。美しい緑とオレンジ色の大気の中で、私と同じ顔をした男の人と、女人人が、何人も何人も私の回りをとりまいていました。私が、手を上げると、みんなが同じ手を、同じ方向に上げるのです。私が歩き始めると彼らもまた歩き始めます。私は、不思議そうに見つめると、私と同じ顔の人達もまた、私を不思議そうに見つめます。その丘には、美しい花が一面咲きほこつていて、赤い花は、よく私にお話をしてくれます。でも話を聞こうとすると、私と同じ彼らが話を聞こうとします。黄色の花をつもうとすると、彼らも同じ花をつみります。私は、私と同じ顔をした人達に、「お願いだから、私の真似をするのはやめて。」と叫ぶのです。やがて、私はあきらめて、坂を降り始めました。美しい花一杯の

山道に、可愛い紅色の花を見つけて、それをつみとりました。私は同じ彼等も、その花をつみとりました。美しい山道には、紅色の花は一本もなくなり、美しいオレンジ色をした空気は、やがて灰色となり、大地は、ゆれ動き、逃げようとすれば、大地の割れ目と、自分と同じ人達に引っぱられて逃げることはできません。びしょりと汗ばんでやがて夢から目が覚めて、自分にもどることができました。

私は、その夢が眞実であるような気がして、どうしてもすぐ起きることはできませんでした。しかし、新郷の幼稚園と小学校の皆さんのが、一人ずつ目に浮かび、一人ひとりが遊んでいました。そうだ、この地球上には、私も君達も同じ顔が二つとないのだ。イヤだって、真珠だって同じものがいくつもあるのに

そう思うと人間の偉大さと、一人の人間の重さがずつしりと感じられました。四十億人の人間の中で、一つしかない顔、それは、一つしかない心であり、生命であるのです。そう思うと人の尊さはたとえようがないものであることがわかります。一人ひとりの子供は存在しますが、子供たちという子供は存在しないこともあります。一人ひとりの子供の顔立が違うように、生き方も、希望も違うのです。一つしかない顔は、この地球上で、この子だけしかできないことがあるのです。私はそのような子供に、大きな未来と希望を抱いております。やがて巣立ち行く小鳥のように、大空へ向かって羽ばたく姿こそ、子供らの顔であり、その顔に刻まれた年輪が人間として一つの個性や人生をつくるのではないでしょうか。

く中学校に入つても、今まで以上に頑張つて下さい。

さて、昔から「子供は遊びの中で育つ」と言われてゐますが、最近どの集落においても休日だといつてもほとんど子供達の遊ぶ姿を見かける事はありません。だれよりも、より多くの知識を教えこむ、知識を取得することが子供の生活に大きなウエイトをしめて来ている為に、子供から遊びが遠ざかっていくのではないでしようか。今の遊びは室内で一人で遊びふける事が出来る様な物ばかりです。こうした子供達の世界のいびつなり方を今一度、私達は反省すると共に、見なおさなければならぬと思います。

故人は道の為に学問をしましたが、今のは出世の為に学んでいます。出世の為だけ学ぶのが学問ではありません。親として我子が将来よい就職口について出世できることだけが願われている現在、又社会道德の

宗教等人間をとりまく多種多様な物が互いに協力し合つて社会が成り立っています。今、子供達を取りまく社会環境は、子供達や親の願いどおりに恵まれているとは決して言えません。

遊びのない子供社会、過度な塾通いが子供の心身の健全な発達に大きな影響を与えていて、我々は一度真剣力、責任感、思いやりの心を育てる豊かな人間形成について、我々は今一度健全な人間形成に力を貸す必要があるのであります。最後になりましたが、この一年色々と御指導賜りました校長先生、諸先生方に心から感謝を致しますと共に始め、PTAの皆様方に心から感謝を致しますと共に更にPTAが充実することをお祈り申し上げます。

にとりましては、いささか不安な気もされましょう。
又この時期は大人への過渡期として各自自我が芽生えはじめ、自分の意見をもつてまいります。大人達に対する観察の目が肥え、時には批判的な言動となることもあります。我々の地区は昔からそのほとんどが農業に従事し、親子ともども農作業をお互いのふれあいの場としながら家庭を形作ってきましたが、今やほとんどの家庭がサラリーマン化し全員の揃う日が多くなり、いきおい親子の対話の機会も無くなっているのではないかでしょうか。

又たとえ話をするにしても、「勉強したか早くねろ」式の会話の押しつけでは、対話というにはほど遠くむしろ逆効果となってしまいます。親と子の話し合いの場を我々自らが作り出し、相手の立場になって聞いてやること、これを今、楽しい家庭作りのために提言したいと思います。

顏

校長
伊藤政昭

発行
新郷小学校PTA
学級委員会
編集責任者
西正五太夫
印刷
久野印刷(株)

楽しい家庭

最後になりましたが、この一年色々と御指導賜りました校長先生、諸先生方を中心としたPTAの皆様方に心から感謝を致しますと共に始め、PTAが充実することをお祈り申し上げます。

遊びのない子供社会、過度な塾通いが子供の心身の健全な発達に大きな影響を与えていることを考えなければなりません。自己抑制力、責任感、思いやりの心を育てる豊かな人間形成について、我々は今一度真剣に問いかね直す必要があるのでないでしょうか。

の中で色々な人々 環境や
宗教等人間をとりまく多種
多様な物が互いに協力し合
って社会が成り立つていま
す。今、子供達を取りまく
社会環境は、子供達や親の
願いどおりに恵まれて いる
とは決して言えません。

で子供達は生きています。乱れが甚しい現代社会の中で自分にとって損か、得か、自分にとつて迷惑か、いかか、それぞれ自分に関係があるか、ないかによって、一方的に判断し、相手の立場など全然問わないのです。人間は一人で生きていける者ではありません。社会

の一行つてきます！」と元気な声で飛び出して行つたことが、ついこの間のことのように思い出されて、胸に迫るものがあることと思ひます。

青木 純治
知つてゐる人はあまり多くはないと思うが、ぼくは、幼稚園のとき転校してきました。新郷にきて、ほんとによかっただと思ひます。みんな優しくしてくれました。中学では、ぼくの大好きな野球ができます。中学は勉強と野球(部活)を同時にやらなければならぬので、大変だと思つています。でも、どちらもがんばって、新郷の名をとどろかせたいと思います。がんばります。

吉江 成司
この六年間、とても楽しかった。その中で、特に六年生の時は、いろいろな行事があつてよかったです。今から思うと、六年間は短かったなあと思います。いじめられることもありませんでした。

篠崎 柚様
小学校生活も、あとわざかつた。六年間は長いようですが、六年間は長いようでも過ぎてしまふと、とっても短かっただようになります。今年から始まつた、生き生きタイムは、とっても良い思い出になると思います。

橋本 昌英
もうすぐ中学生。この新郷小学校ともお別れだ。南部先生、坂上先生、水野先生、清水先生。いろいろな素晴らしい先生に教えてもらつた。授業の一回、一回を覚えている。

齊藤 由加
楽しかった小学校生活もあとわざかになりました。この六年間は楽しい事、つらい事がたくさんあつたけれど、今となつてはいい思い出です。わたしの今まで一番よい思い出は、五年生の時のフットベースボール大会で優勝した事です。ありました。

岡崎 まちこ
楽しい小学校生活は、あとわざかになりました。この六年間は楽しい事、つらい事がたくさんあつたけれど、今となつてはいい思い出です。わたしが、三年の時に、新校舎ができ、四年には、新校舎で行き、五年の時には、スキー教室に行き、自然教室、生き生きタイムなど、とても楽しい思い出がたくさんあります。この出来事



かがやけ 22のひとみ



三上欣之
今年からは、中学生になりますので中学校から始まる英語や、部活動にがんばりたいと思う。ぼくはサッカー部に入つてがんばりたい。そして、何でも、六年生の時より出来るようにした

吉江光司
この六年間はあつという間だったと思います。特に六年生の時です。修学旅行・自然教室・キャンプと楽しい事があつて、いい一年間でした。その中でくいがくさんあつたからおもしろかった。そして、この学校で覚えたことを、中学生になつてもいいことに使おうと思う。



高橋将義
長かった六年間、あつという間でした。あと少しで卒業。ぶりかえつてみると残るのは、サッカー大会とソフトボール大会です。二つとも、いまいちだったと思ひます。その事が印象に残ります。中学校に行つて部活は、サッカーをやろうと思います。勉強も部活も、一生懸命やろうと思ひます。



江畑将亨
六年間の小学校生活、あつと言つて間に過ぎてしまつました。新郷小、ぼくには忘れられない心の郷里です。修学旅行・自然教室・スキー教室がありました。また、修学旅行、スキー教室、生き生きタイムでは、竹田川の川下り、宮前でのキャンプなど数えるときりがない程、色々な思い出があります。この思い出を忘れず、中学生になつても部活、勉強にがんばります。



東純子
わたしは、小学校での六年間、楽しかったこともあります。今まで先生方には、よくおしかられたこともあり、苦労もたくさんかけました。これからは、何事にも、努力をし、しっかりとやつてきます。



思い出の修学旅行

思い出の修学旅行

高橋 将義

五月十四日の朝、ぼくは、五時に目がさめました。この日が待ちに待った修学旅行の日です。

この旅行は、新郷小学校だけでなく芦原町全部の学校で参加します。ぼくたちは、五号車で、波松小学校、北潟小学校といっしょでした。

最初に清水寺を見学しました。雨がぱたぱた降つていて、ちょっと心配になりました。それは、次の日のドリームランドのことです。寺は、山の近くにあり、ここでおみやげを買いました。

次に、平安神宮に行きました。ここは門は、とても大きくて、びっくりしました。宇治平等院は、十円玉と全く同じ姿で、とてもきれいでました。

ドリームホテルでは、一つの部屋に集まつて手品などをして遊びました。校長先生、清水先生、清洲先生もいっしょで、とても楽しい夜でした。

次の日の朝、少し晴れました。東大寺では、大仏もよかったです。金剛力士像の迫力はすごかったです。ドリーム



自然教室

岡崎 真智子

待ちに待った自然教室、

二泊三日、六呂師高原。

わたしは、九班でした。

六呂師について、最初にしたこととは、班旗作りです。

九班の旗は、おたまじやくしを「9」にして、デザインしました。

卒業おめでとう。君達との出会いは、四年前、わたしの教師として出発の日でもありました。今、君達の卒業をいっしょに喜べることを大変幸せに思っています。

あの頃はじやんけんをするにも、どうやって負けてやろう等といらぬ心配をする余裕があつたものです。

それが今では、いろいろとかなわないことが増えました。

これから一步ずつ大人への階段を上っていく君達に、リンゴをしました。私の班は、初めから道をまちがえてしまい、一番遅れてしまいました。だけど、最後には、三人で走って進んでいきました。

二日めには、オリエンテーリングをしました。私の班は、「自分に勝つ」ことを心掛けて欲しいということです。

卒業によせて

南部 美代子

卒業す



卒業の子に光陰の

かく迅

卒業す

みんながしっかりと成長して、それで卒業して行くのを聞くとなつかしいやら、嬉しいやら一人一人に心かなら。

入学を受持ちし子の

五年 篠崎 嘉康

卒業によせて

清 水 誠



わたくしが、この子たちを受持ったのは、入学したばかりの大好きな時だった。だから、しっかり基礎が身につけられ、子ども達にすまないとばかりに頑張っていたのですが、家庭の都合で退職を決意しなければならない事態となり、子ども達にすまないという気持ちと、なんとかこの短い期間に、自分のすべてを子どもに伝えておきました。

卒業生のみなさんへ

五年 篠崎 嘉康

六年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

この一年間、委員会活動も全力投球したりして、私の教員生活でも忘れられぬ学級になりました。それだけにこの子たちの成長は、私にとってもたいへん心に掛かることだったのですが、少し無理だと思われることもありました。今、君達の卒業をいっしょに喜べることを大変幸せに思っています。

したメイ選手を祝福しに行きました。「やるべきことは全てやつた。自分に勝った」という満足感にあふれた素晴らしい笑顔が印象的でした。優勝の栄冠を手にするのは、たったの一人ですが、「自分に勝つ」喜びは、何人でも味わえることを教えてくれたような気がします。君達も自分の弱さに打ち勝ち、成長を続ける人になつて下さい。

もうすぐお別れですが、次に出会う時、どちらが成長しているか競争しましょう。楽しみにしています。

卒業生のみなさんへ

い気持ちですが、紙面をかりて御父兄の皆様にもお祝い申し上げ、この子たちを受持つて下さった先生や、諸先生方、PTAの皆様にもお礼を申させて戴き、お許し願いたいと思っています。

この日の夜は、キャンドルサービスがあり、劇や歌などの出し物を見て、楽しく過ごしました。

最後の活動は、小運動会でした。むかで競走、ジャンケンリレー、ジェスチャーゲームなどのおもしろい種目がありました。あつとたが、新しい友だちと楽しいう間に過ぎた三日間でした。長いと思っていた一泊二日の旅行でしたが、本当に短かったです。

ランドでは、いろんな乗り物に次々と乗つていきました。長いと思っていた一泊二日の旅行でしたが、本当に短かったです。

この日は、キャンドルサービスがあり、劇や歌などの出し物を見て、楽しく過ごしました。

最後の活動は、小運動会でした。むかで競走、ジャンケンリレー、ジェスチャーゲームなどのおもしろい種目がありました。あつとたが、新しい友だちと楽しいう間に過ぎた三日間でした。長いと思っていた一泊二日の旅行でしたが、本当に短かったです。

この日は、キャンドルサービスがあり、劇や歌などの出し物を見て、楽しく過ごしました。

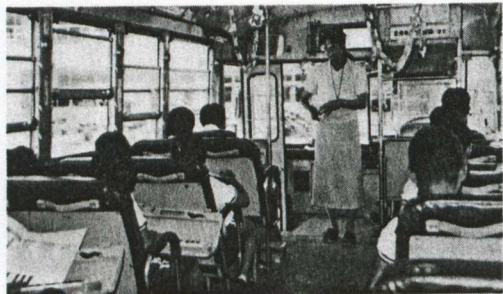
楽しかつた一年

バ
ス

一年 西正 治子

音楽の時間、バスで――
「バスはしる」を歌いました。
みんなは楽しそうに歌
いました。バスで「バスバ
スはしる」を歌うと、バス
がうごいているみたいな気
分がしました。

「つぎに、はんごとに歌いました。一ぱんは「山びこさん」を歌いました。わたくしら四はんは「かっこう」を歌いました。歌つたら、小鳥が鳴いているみたいで、おわりに、ピアニカで、「かえるのがっしょう」をひきました。わたしは、バスの中だとじょうずにひけたなどおもいました。



宮前のお宮さんにもう来ました。河上先生が草を刈つて、設計図を見て穴をほりました。その間祐祥君がロープで結んだ木をうめました。よしやす君が土をたたいてゆれないようにしてくれました。その時、もし、ねている時に柱が落ちて来たらどうしようと思いました。なんとか形ができたのでシートをかぶせました。二枚なので天井の方がすこし穴い

この前から家作りの計画をたてていました。その計画通りに宮前のお宮さんで建てることになりました。

船つくり
四年 植田 武

つたけど転がしてきました。
そして、下組みをしてみま
した。

船
つ
く
り

四年 植田 武

初め、計画を立てました。みんなどんな船が作りたいか黒板に書きました。どんな船か決まつたら材料のはさ木を何本も持ってきました。とても重たかったので、

そして、下組みをしてみました。
やつと作り始めました。
まず、のみでくぼみを作りました。
のみを使うのは初めてなので、やるのがおそいけどきれいにしようと思
いました。次に出ている所をのこぎりで切りました。
のこぎりを使うのも初めてでうまくできるか心配でした。やつとくぼみを作った。
その後組み合わせました。

A hand-drawn diagram of a truss structure. It features a vertical central column with diagonal members extending from its top and bottom. From the base of this column, several horizontal members extend outwards to form a wide trapezoidal base. The letters "BEE" are written above the top of the central column.

幼稚園
林亞佳里

丈夫になるように針金と口
一 プでまいてしました。
厚い板を一生けん命みんな
がかわりばんこに切って、

ヤングマガジン

た。全部自分で作りました
下に落ちたり、きたないと
思つたこともありました。
本当につらかったキャン
プ！でも、また、したいで
す。

A black and white illustration depicting a scene from a story. In the foreground, two figures stand on either side of a large, dark, textured tree trunk. The figure on the left is wearing a patterned tunic and holding a long staff or stick. The figure on the right is wearing a dark tunic and holding a sword. The background shows stylized clouds and a distant building.

が出来ました。私は自分の力で作ったなんて思うとうれしくてたまりません。はしゃぎながらコップや竹ぐしを作っている所へかけだしました。



ました。十一時ごろまででれませんでした。夜中の三時ぐらいにまた起きてしまいました。ごはんを自分たちで作ったこと。パンやバーベキューも外で作りま

ら、みんなでアルミホイルにいもを二つずつ包み、焼きました。

急にふつていいやだなあと思いました。雨がやんだり、あつたりして、にくらしい雨でした。作った家にも水が入るだらうなあと思いました。二人いっしょにねました。もうふを着ていたからだとしました。あつくてねむれなかつたこと。雨のため、七十音のほうがよかつたなあと思いました。とても暑くて、少し汗をかいてしまいました。

ちは、天候にもめぐまれ、全校で、いや幼稚園もいつしょになって、春みんなで植えたさつまいもをほりました。片手で持てないほど大きなももとれました。「はら、こんなに大きい」とさけぶ子もいれば、「きゅうりみたい」と言う子もいます。ぼくたちは一輪車でいもを集めて洗いました。次にいもをかわかし、火の準備をしてか

それから雨がジャージャーふったこと。わたしたちはかけ足で、テントの中に入りました。テントの中で、雨の音がパチパチしていました。音がなんでもちがいました。

輝く栄光

優勝 五年 木内 美希
アイデア貯金箱コンクール
会館賞 一年 小西富美子
局長賞 二年 白崎 弘子

「個性と感性 育てる教育 求めて」

新郷校・区民総合 体育祭を顧みて

篠崎 晴美

本年度、第十三回（昭和六十二年度）の視聴覚教育研究助成（松下賞）を受賞することができました。

この賞は、個別学習のための教材開発や視聴覚機器の効果的な利用に関する研

員の方々との度重なる打合せを経て、九月二十日総合体育祭は開催されました。その日最高の秋晴れの下で児童区民総出の体育祭は天をつんざく花火の音とと

學級委員長



究を行つてゐる学校に与えられたもので、県内では本校が選ばれました。子ども一人ひとりの持つた能力や適性を最大限に伸ばすことは、学校に与えられた使命です。本校では、コンピュータ等を利用した授業によって、自分で意欲的に学ぶ態度を育てたいと考えています。また、映像の力を身につけて欲しいと願っています。

この賞を励みとして、今後も頑張りたいと思います。

**新郷校・区民総合
体育祭を顧みて**

私が新郷体協の役員となつて二年目、從来新郷小学校と校下区民とは、夫々独自に体育祭を行つてきましたが、小学校側の心良い承諾と、当地区区長会の同意を得て、今年度から合同で開催することになりました。伊藤校長をはじめとする諸先生方及び校下諸団体の役員の方々との度重なる打合を経て、九月二十日総合体育祭は開催されました。

その日最高の秋晴れの下で児童区民総出の体育祭は天をつんざく花火の音とともに始まり、そして盛況の内に終了しました。

声をあげれば届くような同じ地区に住みながら、兎角、疎遠に成りがちな今日地区民児童が一場に会して子、親、祖父、父母互いに顔を見、声を聞き健康な運動に興じての交流はたった一日でしたが、楽しく思いい出に残る貴重なものだつたと思います。余り広くもない新郷地区であり、余り多くもない児童数であります。だからこそ長幼一如の連帶意識と思いやりのある地区に育つには天恵の環境であります。元気一杯の新世代の母体として、はつらつたる若者の生産活動基盤として、はたまた老後の安樂地として、益々この地区

が創生あるととして繁栄して欲しいものです。合同体育祭がその為の一助となつたことを確信し、来年度はより一層地区の親睦と融和を計る為、努力して行こうと心新たにした次第です。

最後に、この一文をしたためながら合同祭での児童たちの活発で明るい笑顔を思い浮かべ、小規模校であることの心配は特に杞憂であつたと実感しています。かく申します私の子も、程なくこの名誉ある校舎の門をくぐることになるからです。